

AMS 2022

13th Asian Microgravity Symposium

Oct. 24 MON - 28 FRI, 2022

Jeju Ramada Plaza Hotel, Jeju Island, Korea

AMS2022 ホームページより  
<https://www.ams2022.kr/index.php>



M2 原 侑花

## 第13回 Asian Microgravity Symposium (AMS)

目的: 微小重力研究に関するアイディアの交換や知見を共有すること  
10個のトピックスに関して発表が行われていました。

- 燃焼
- 材料科学
- 浮揚
- 基礎物理学
- ライフサイエンスとバイオテクノロジー
- 地上の微小重力施設

などなど...

第13回目のAMSは「韓国のハワイ」と言われている済州島で  
10月24日～10月28日の期間で開催されました！！

# フライト 福岡→釜山→濟州



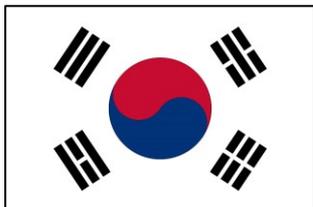
Google Mapsより  
<https://www.google.co.jp/maps>



👉 濟州島の守り神「トルハルバン」がお出迎え

福岡空港  
↓ 国際線  
金海国際空港(釜山)  
↓ 国内線  
濟州国際空港  
空港から学会会場近くのホテルまで、  
タクシーで約10分(約600円)でした！  
  
一人で海外に行くのは初めてだったので  
無事たどり着けるかドキドキでした笑

# 入国手続きに必要な書類



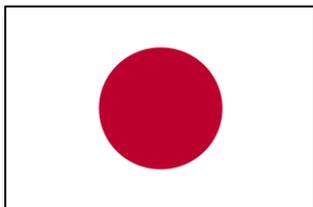
## 韓国入国

**Q-CODE** QUARANTINE  
COVID19 DEFENCE

健康状態の質問(事前にオンラインで回答可能)のみで、  
ワクチン接種証明書やPCR検査陰性証明は不要でした！

**K-ETA** KOREA  
ELECTRONIC TRAVEL  
AUTHORIZATION

電子渡航証  
ビザなしで韓国に入国するために必要でした



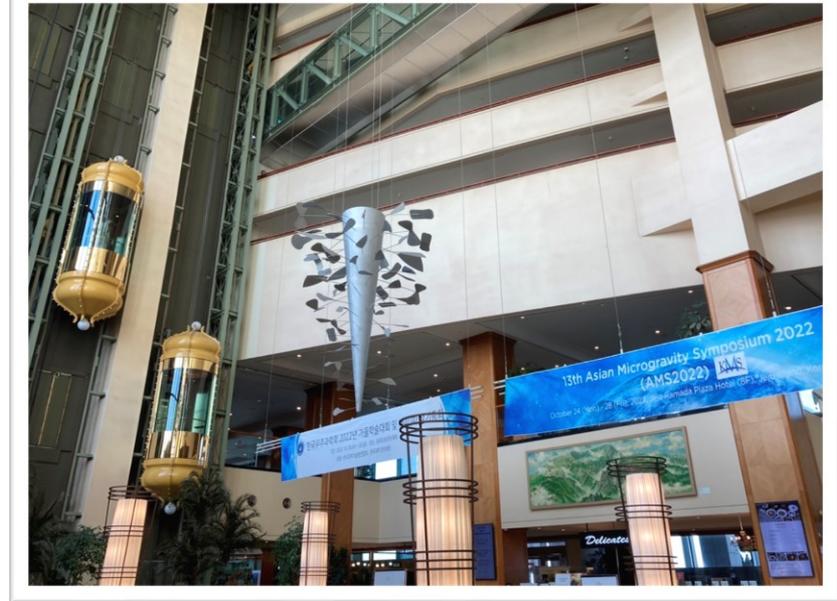
## 日本入国(帰国)

有効なワクチン接種証明書 OR 出国前検査証明書 の提示が必要でした

健康状態の質問をオンラインで回答したうえで、入国時に検疫の職員の方からもう一度質問されるという二重体制でした。



# 学会会場



👉 海が見たことないぐらいきれいでした。  
さすがリゾート地！

発表会場の部屋の名前が  
「Halla Hall」で、私の苗字が  
原(Hara)なので親近感が  
わきました笑

※Hallaは済州島の山の名前でした。

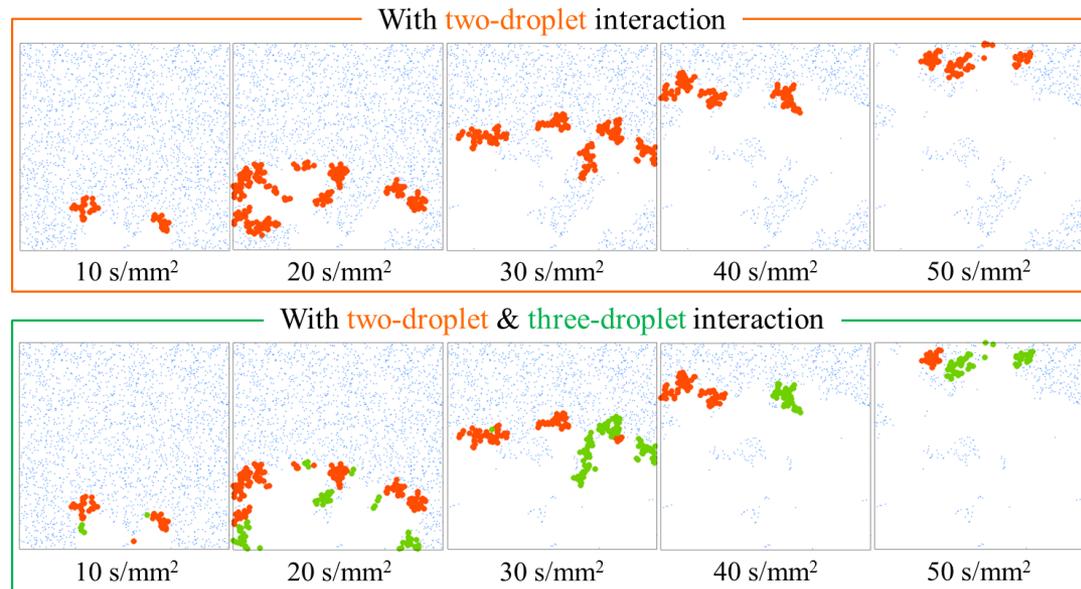


👉 三上先生のオンライン発表

# 発表内容

“Effects of **three-droplet** interaction on the flame spread over randomly distributed droplet clouds at the critical points using a percolation model.”

Yoshidaら(2019)によって国際宇宙ステーション(ISS)で行われた実験結果をパーコレーションモデルに組み込み、**二液滴干渉**時の臨界点において、**三液滴干渉**が臨界点に与える影響の調査を行いました。



同一の液滴配置での燃え広がり挙動



👉 発表中...緊張しました。

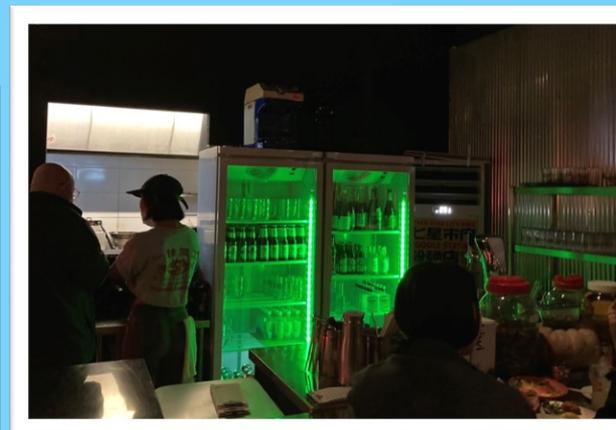
# Welcome Reception & Banquet



👉 Welcome Reception  
濟州島名物のアウビ入りでした！



👉 Banquet



👉 Banquetで席が近かった中国，ベトナム，韓国出身の方たちに二次会に連れて行ってもらいました。

二次会で教授 & Ph.D.の方から「若いうちにしっかり遊んでおけ！」と何度も言われました笑

# 濟州島～食べ物～



👉 黒豚ストリート  
サムギョプサルのお店が並んでいました！



👉 人生初サムギョプサル！  
おいしくて、滞在中に2回食べました笑



👉 コンビニで購入したキンパ(韓国のりまき)  
癖になる辛さでした！



韓国でも  
MONSTER

# 济州島～観光～AMS実行委員長(韓国人)の教授にオススメの観光地を聞いて行きました



AMSのプログラムの表紙に載っていた「ソンスンイルチュルボン」に行きました。海底噴火で生まれた山で、標高は182m。世界遺産にもなっています！



滞在場所

目的地



👉 頂上まで階段で登りました！運動不足を痛感しました笑



👉 広島大学の佐伯さん、上野さんと一緒に観光しました。お二人のお陰でとても楽しかったです！



# 感想

対面で参加する初めての学会で、発表を聞いてくださっている方の反応が見えるという、オンライン発表とは違う緊張感を味わいました。

Asian Microgravity Symposiumということで、韓国・中国・インド・日本の参加者が多く、同じアジアでも、国ごとの発音の癖が全く違い、なかなか英語が聞き取れずとても苦戦しました。

質疑応答では、質問者の方のアクセントと、私が思っていたアクセントが違ったことで質問内容を理解することに時間がかかり、改めて英語でのアクセントの重要性を実感しました。

また、燃焼系だけでなく、材料系や生物系のセッションでの発表も聞いていたのですが、身近ではない分野の専門用語は特に難しく、発表を聞いている最中に何度も辞書を使いました。

発表以外の場面でも参加者の方とお話する機会がたくさんあり、専門用語がないような会話では苦戦しなかったのですが、気を遣ってゆっくり話していただいたり、簡単な表現を使ってくださっていると感じたので、対等に英語で会話ができるようになりたいと思いました。この悔しさを糧に、今後も英語力の向上に努めます。

また、今回は山大から私一人で参加ということで不安だったのですが、広島大学の佐伯さんと上野さんと、ご飯や観光など、たくさんご一緒させていただき、充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました！！

最後になりますが、学会発表の機会を与えてくださり、ご指導くださいました三上先生、発表練習でたくさんアドバイスをくださった研究室の皆様にもこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました！！